

甲南女子大学
日本語教員養成プログラム
ガイダンス

対象：2020年度入学生

ガイダンスの内容

1. 日本語教師とは？
2. 日本語教師になるためには
3. 甲南女子大学日本語教員養成プログラムで、どう学ぶか
4. プログラム履修の流れと履修上の注意
5. その他注意事項

※履修登録について注意する点については、4、5を参照してください。

1.日本語教師の仕事とは

- 日本語が母語ではない人たちに日本語を教える仕事
- 「日本語」を「外国語」の一つとして捉え、言語教育をする教師

「神戸に住んでいます」
はOK。では「神戸で住ん
でいます」はなぜ間違い
なのですか？

「窓が開いています」と
「窓が開けてあります」
は何が違うのでしょうか？

日本語の動詞や形容詞
の活用は、どう説明し
たらわかりやすい？

2.日本語教師になるためには

▶資格が必要です

国家資格化に向けて制度が動いているところ。

現段階でも日本語教師として「有資格」でなければ、基本的に日本語教師として採用されません。

☞法務省により「日本語教育機関の日本語教員の要件」が明確化された。（「日本語教育機関の告示基準」H29年8月1日～）

日本語教員の要件（条件）を満たさなければ、法務省が留学生受け入れを認める「告示校（＝日本語を教える教育機関）」で働けない。

⇒では、どういう要件が求められるか？

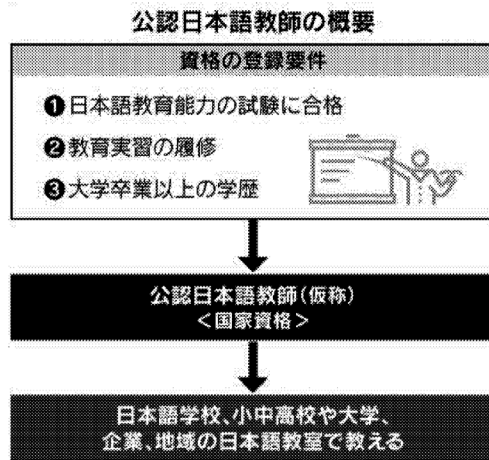
「大学（短期大学を除く）又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して所定の単位を修得し、かつ、当該大学を卒業し又は当該大学院の課程を修了した者」＝以下の要件をすべて満たす者

- ① 大学を卒業又は大学院の課程を修了していること。
- ② 日本語教育に関する課程は、大学においては日本語教育に関する学部、学科又は課程、大学院においては日本語教育に関する研究科又は専攻として置かれており、文化庁に設置された「日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議」が平成12年3月30日に取りまとめた「日本語教育のための教員養成について」において示された「日本語教員養成において必要とされる教育内容」を踏まえ、「社会・文化・地域」、「言語と社会」、「言語と心理」、「言語と教育」、「言語」の五つの区分にわたり、授業科目（大学においては45単位以上）が設定されたものであること。
- ③ 上記科目の単位（教育実習1単位以上を含む45単位以上）を修得していること。
- ④ 大学が発行する証明書等において、新基準及び解釈指針が示す日本語教員の要件を満たしていることが確認できること。

甲南女子大学日本語教員養成プログラム修了書に記載

「本課程は、日本語教育機関の告示基準（法務省入国管理局平成28年7月22日策定）第1条第1項第13号イで求められた日本語教育に関する教育課程であることを証します。」

日本語教師に国家資格



文化庁 20年度以降に創設

外国人らに日本語を教える国家資格「公認日本語教師」(仮称)が20年度以降に創設される見通しとなった。国の文化審議会の小委員会が14日にも報告書案をまとめる。日本語教育能力の試験に合格し、教育実習を履修することなどが資格の登録要件となる。文化庁は制度の詳細を今後検討し、早ければ20年度に関連法を成立させたい考え。日本で暮らす外国人が増えるなか、日本語教師の質や社会的地位を高め、教育内容の充

現在、日本語学校で働く日本語教師には法務省が大学や大学院で日本語教育に関する課程を修了するなど一定の要件を定めていない。養成は大学や民間で行われており、教育内容や教師の質に差があるとの指摘も出ていた。

公認日本語教師は医師や弁護士などと同様の法律に基づく国家資格とする。試験では日本語の教授法のほか言語学、多文化共生、日本の外国人施

在留外国人増、教育の質を確保

策など幅広い分野の知識を問う。大学などでの教育実習も必須とし、学士(大学卒)以上の学歴を求める。

大学で日本語教育を学んだ学生や日本語学校で教えている教師などの取得を想定。日本語学校や地域の日本語教室、企業研修、大学などで教えることが考えられる。

文化庁によると、日本語学校や大学で日本語を学んでいる人は18年度で約26万人で、13年度から約10万人増えた。一方、日本語教師は同じ期間に約1万人増の約4万人にとどまり、6割がボランティア、3割が非常勤で、常勤は1割という。

国家資格とすることで国が教師の質にお墨付きを与え、社会的地位を向上させて担い手を増やすことを狙う。

出入国在留管理庁によると、19年6月末時点の在留外国人は約282万9千人で過去最多を更新。19年4月には労働力を増やす改正出入国管理法が施行され、将来の永住などに道が開かれた。

2020/02/14 日本経済新聞 朝刊

- 今後、日本語教育の現場はますます多様化が進み、さまざまな領域での日本語教育が検討され実践されていくことが予想されます。(幼少中高等学校での日本語指導、看護・介護分野をはじめ、生活者として共に働き、生きる場で日本語教育の知見が活かされるはず…)

3.甲南女子大学日本語教員養成プログラムでどう学ぶか？

- ①「日本語教員 養成において必要とされる教育内容」の条件を満たした授業科目（大学においては45単位以上）を学ぶ。**幅広い知識と教育内容**



- ②日本語教員養成課程修了の条件「**教育実習**」1単位



- ③日本語教育機関の告示基準（法務省入国管理局平成28年7月22日策定）第1条第1項第13号イで求められた日本語教育に関する教育課程を修了し、卒業と同時に修了書を授与される。

4. プログラム履修の流れと履修上の注意

学生要覧117p～「プログラム科目」の選び方

- ▶科目表の区分（ジャンル）ごとの必要単位数を確認すること。
- ▶プログラム科目の中の共通科目の展開科目・メディア科目などを計画的に履修すること。
- ▶自学科専攻科目の卒業要件単位数を見て、プログラム科目の中の自学科専攻科目を計画的に履修すること。
- ▶3年次前期までに「日本語学入門」「日本語教育学入門」（1年次配当）、「日本語教授法」（もしくは「英語科教育法」）「日本語の文法・文体」「日本語教育指導論」（2年次配当）の単位を取得しておかなければならない。
- ▶これらの科目が修得できなかった場合は、3年次後期の「日本語教育実習研究」および3年次後期集中講義の「日本語教育実習」の受講資格がなくなる。

日本語教育実習の履修要件（プログラム必修科目）

資格取得をめざす人は、この2科目を必ず登録してください。

1年次

- 日本語学入門（前期または後期の木曜日1時限目）
- 日本語教育学入門（後期 木曜4時限目）

2年次(プログラム履修仮登録)

- 日本語教授法（前期）
- 日本語教育指導論（後期）
- 日本語の文法・文体

3年次（プログラム履修本登録）

- 日本語教育授業研究（前期）
- 日本語教育と学習者（後期）
- 日本語教育実習研究（後期）

3年次（2～3月）

- 日本語教育実習（後期集中講義）

日本語教員養成プログラム科目表

必要 単位	授 業 科 目	単 位 (0日は必修)	配 当 年次	開講学科等	留意事項	
4 単 位 以 上	日本の文化（茶道）	2	2～	全学共通科目（芸術科目）		
	日本の文化（華道）	2	2～	全学共通科目（芸術科目）		
	日本文化史	2	1～	全学共通科目（人文科学科目）		
	民俗学概論	2	2～	全学共通科目（人文科学科目）		
	日本人は何を考えてきたのかⅠ	2	3～	日本語日本文化学科専攻科目		
	日本人は何を考えてきたのかⅡ	2	3～	日本語日本文化学科専攻科目		
	日本古典文学史	2	2～	日本語日本文化学科専攻科目		
	日本近代文学史	2	2～	日本語日本文化学科専攻科目		
	日本近代の文学A	2	2～	日本語日本文化学科専攻科目		
	日本近代の文学B	2	1～	日本語日本文化学科専攻科目		
	日本現代の文学A	2	2～	日本語日本文化学科専攻科目		
	日本現代の文学B	2	1～	日本語日本文化学科専攻科目		
	4 単 位 以 上	現代アジア事情	2	1～	全学共通科目（国際理解科目）	
		英語圏文化入門	2	1～	国際英語学科専攻科目	
		英語圏文学入門	2	1～	国際英語学科専攻科目	
		ヨーロッパ文化・社会論	2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	
		アメリカ/カナダ文化・社会論	2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	
		東南アジア文化・社会論	2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	
オセアニア文化・社会論		2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目		
中国文化・社会論		2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目		
韓国文化・社会論		2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目		
NGO/NPO 論		2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目		
異文化 接 触	世界の近現代史	2	1～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	国際学部のみ履修可	
	多文化社会論	2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目		
2 単 位	日本語教育学入門	2	1	日本語日本文化学科専攻科目		

1年次必修 後期末4
必ず履修してください。

1～（1年生からとれる）科目の中から「全学共通科目」や自分の学科の専攻科目を選んで必要単位をそろえよう

	必要単位	授業科目	単位 (○印は必修)	配当年次	開講学科等	
言語と社会 (6単位以上)	言語と社会の関係 6単位以上	社会言語学入門	2	1～	全学共通科目(人文科学科目)	
		新聞論	2	2～	日本語日本文化学科専攻科目	
		メディア論	2	1～	日本語日本文化学科専攻科目	
		メディアの読み方	2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	
		文化メディア論A	2	3～	文化社会学科専攻科目	
		文化メディア論B	2	3～	文化社会学科専攻科目	
	言語使用と社会	日本語の方言	2	3～	日本語日本文化学科専攻科目	
	異文化コミュニケーションと社会	文化人類学入門	2	1～	全学共通科目(社会科学科目)	多文化コミュニケーション学科履修不可
		文化人類学	2	1～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	多文化コミュニケーション学科のみ履修可
		開発と女性	2	3～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	
多文化共生論		2	3～	多文化コミュニケーション学科専攻科目		
社会・集団・家族心理学		2	2～	心理学科専攻科目		
言語と心理 (2単位以上)	言語理解の過程・発達 2単位以上	学習・言語心理学(学習心理学)	2	2～	心理学科専攻科目	
		応用認知心理学(認知心理学)	2	3～	心理学科専攻科目	
		日本語教育と学習者	2	3～	日本語日本文化学科専攻科目	1科目(2単位)選択必修
	異文化理解と心理	日本語の表現・英語の表現Ⅱ	2	3～	国際英語学科専攻科目	
		グローバル・シティズンシップ入門	2	1～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	多文化コミュニケーション学科のみ履修可
		異文化理解論	2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	
言語と教育 (11単位以上)	言語教育法・実習 9単位以上	日本語教授法	2	2～	日本語日本文化学科専攻科目	1科目(2単位)選択必修
		英語科教育法Ⅱ	2	2～	中高教職課程「資格科目」(英語)	
		日本語教育指導論	2°	2	日本語日本文化学科専攻科目	
		日本語教育授業研究	2°	3	日本語日本文化学科専攻科目	
		日本語教育実習研究	2°	3	日本語日本文化学科専攻科目	これらは必ずセットで履修すること
		日本語教育実習	1°	3	日本語日本文化学科専攻科目	
		英語科教育法Ⅲ	2	3～	中高教職課程「資格科目」(英語)	
	異文化間教育・コミュニケーション教育	多文化教育論	2	2～	多文化コミュニケーション学科専攻科目	
		教育・学校心理学(教育心理学)	2	2～	心理学科専攻科目	
	言語教育と情報	2単位以上	情報とコンピュータⅠ	1°	1	全学共通科目(情報科目)
情報とコンピュータⅡ			1°	1	全学共通科目(情報科目)	
社会調査入門			2	2	文化社会学科専攻科目	
社会調査の方法			2	2～	文化社会学科専攻科目	

日本語教員養成課程のコア科目です。2, 3年生で履修します

	必要 単位	授 業 科 目	単 位 (0印は必修)	配 当 年次	開講学科等	留意事項
造 言 一 語 般 構		言語学入門	2	1~	全学共通科目(人文科学科目)	
	日 本 語 の 構 造	日本語学入門	2°	1	日本語日本文化学科専攻科目	履修制限あり
日本語の音声・音韻		2	2~	日本語日本文化学科専攻科目		
日本語の文法・文体		2°	2	日本語日本文化学科専攻科目		
日本語の語彙・文字・表記		2	1~	日本語日本文化学科専攻科目		
日本語の歴史		2	3~	日本語日本文化学科専攻科目		
言 語 研 究		日本語の表現・英語の表現Ⅰ	2	3~	国際英語学科専攻科目	
言 語 (16単位以上)	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	アカデミックスキルズ	2	1	全学共通科目(基礎スキル科目)	
		キャリアのための日本語	2	1~	全学共通科目(キャリア支援科目)	
		ヨーロッパの文化	2	1~	全学共通科目(国際理解科目)	
		現代ヨーロッパ事情	2	1~	全学共通科目(国際理解科目)	
		アジアの文化	2	1~	全学共通科目(国際理解科目)	
		海外演習 A	1	1~	全学共通科目(国際理解科目)	
		海外演習 B	2	1~	全学共通科目(国際理解科目)	
		人間関係トレーニング	2	1~	日本語日本文化学科専攻科目	
		グループ討論トレーニング	2	1~	全学共通科目(基礎スキル科目)	
		視聴覚コミュニケーション演習Ⅰ	2	2~	日本語日本文化学科専攻科目	
		視聴覚コミュニケーション演習Ⅱ	2	2~	日本語日本文化学科専攻科目	
		日本語の文章表現	2	2~	日本語日本文化学科専攻科目	履修制限あり
		日本語表現演習	2	1~	多文化コミュニケーション学科専攻科目	多文化コミュニケーション学科のみ履修可
		英語Ⅰ	2°	1~	全学共通科目(言語科目)	
		英語Ⅱ	2°	1~	全学共通科目(言語科目)	
		英語会話Ⅰ	2°	1~	全学共通科目(言語科目)	
		英語会話Ⅱ	2°	1~	全学共通科目(言語科目)	
		韓国語Ⅰ	2	1~	全学共通科目(言語科目)	
		韓国語Ⅱ	2	1~	全学共通科目(言語科目)	
		中国語Ⅰ	2	1~	全学共通科目(言語科目)	
中国語Ⅱ	2	1~	全学共通科目(言語科目)			
マレー・インドネシア語Ⅰ	2	1~	全学共通科目(言語科目)			
マレー・インドネシア語Ⅱ	2	1~	全学共通科目(言語科目)			

1年次必修 必ず履修してください。
前期または後期の木1
日文は学科で指定されたクラスに自分で登録。
他学科で日本語教員養成課程を履修する学生は自分で登録できないので、登録申し込みメールを ayakow@konan-wu.ac.jp に送る。
その際、希望学期(前期か後期か)を明記すること。

5.履修上のその他の注意事項

- ▶ 「日本語教員養成プログラム」は日本語日本文化学科以外の学生も履修できます。ただし、学科によっては、学科で決められている資格取得のための科目や学科の専攻必修科目とこのプログラムの修了のための資格科目を同時に履修することが難しい場合があります。
- ▶ プログラム修了に必要な単位数（45単位）を科目表の区分（ジャンル）ごとに必要な単位数に注意しながら、且つ、卒業に必要な単位数も満たしながら、計画的に履修を進めてください。
- ▶ プログラムの必修科目は（原則）指定の学年で履修してください（各年次に必修科目があります）。
- ▶ 1年後期木曜日4時限「日本語教育学入門」は1年次のコア科目です。必ず履修してください。
- ▶ 2年次の前期にプログラム履修仮申請をします。その後、履修上、支障が予想される事態（留学により、指定学年で必修科目の履修ができないなど）が生じる場合は、必ず事前に担当者に相談してください。担当者：和田（日文）ayakow@konan-wu.ac.jp
- ▶ 認定・交換留学は2年次までにしてください。3年次に留学した場合、4年間でのプログラム修了ができなくなります。
- ▶ プログラム履修許可（2年次後期）を与えられた者が、履修を取りやめる場合は、すぐに日文コモンルーム（4号館4階）に申し出てください。
- ▶ 「学生要覧」p.116～（プログラムの説明・注意事項）、p.117～（プログラム科目表）を、よく読んでおいてください。